Nagoya University Library

山口記 上

皇
913.32
I
3 - 1

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 1/37

Nagoya University Library

62253

62253

山口記序

夫咏什者權輿于天橋遺合之浩唱出雲清地之神咏其來上自王公下至士庶人唫之呂無不暢叙幽情矣　日出處國女子有才者歷代不乏就中伊勢小町紫式部清少納言赤染

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　2/37

Nagoya University Library

衛門等其著者也余家藏種玉
菴主宗祇法師之取撰山口記
弍帖頗義理昭融也雖然舊本
間有脫簡今叨不爲之補註蓋
闕如也此書未能盛行於世矣
有志咏味歌者憾焉余聞之祇
之倭歌之學當時之所推也祇

者下埜守東常緣弟子也連歌
日講磨于宗砌于心敬也近世
學連歌者又皆無不仰祇之風
體矣然則祇之功豈小哉今昔
洛人某請余曰庶幾賜此書新
録梓日貴洛紙之價既而需余
題其端辭而不允於是記所聞

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 3/37

Nagoya University Library

序　二

已テ欲ニ永ク傳ヘント倭歌家者流ニ耳

旨

寛文第八著雍渠灘莫菁二十

有二日宮城春意布衣握毫于

武城萩花堂ニ

山口記

此物語題号種々儀存之古注之説

男女物語等其子細者伊勢の二字と

男女ニ侍る也等為り此義京極黄門

奥書に載らるると然るに當流に不

用歟也又云葉平將の使ひ〻〻伊勢

に下向せ給ふ斎宮に逢ひ給ふ事此物

語の及所々に間有此名を定家卿同

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　4/37

Nagoya University Library

奥書に彼の又同奥書に此物語名字非彼筆者何称伊勢乎云々是當流に用る名号ハ或説に云伊勢書之奉字多郷門に由云々但可然伊勢ハ七条院后宮の女房の間彼宮の書くなるべし作物語也其内業平身上に立る事をあると又万葉集以下に所載歌をあ〳〵ぬ事と業平と宜に

なしく書る事多作人〳〵又或自筆乃至奥書に此物語古人之説に不同或称在原中将自書或称伊勢筆作就彼是有書落事等上古之人強不可尋其作者唯可翫詞花言葉而已と侍るべし黄門の仰に以往事は書はしめ給門るべくこゝろ名字用伊勢筆作雖然於名字

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 5/37

Nagoya University Library

之義於心者可翫詞花言葉之義用之者也學者此義可思者歟

山口記

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 6/37

Nagoya University Library

[illegible]

みちのくにたちのつぼの誰ゆへ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
今はたゆへ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

そもそもいにしへ今の女乃歌
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]

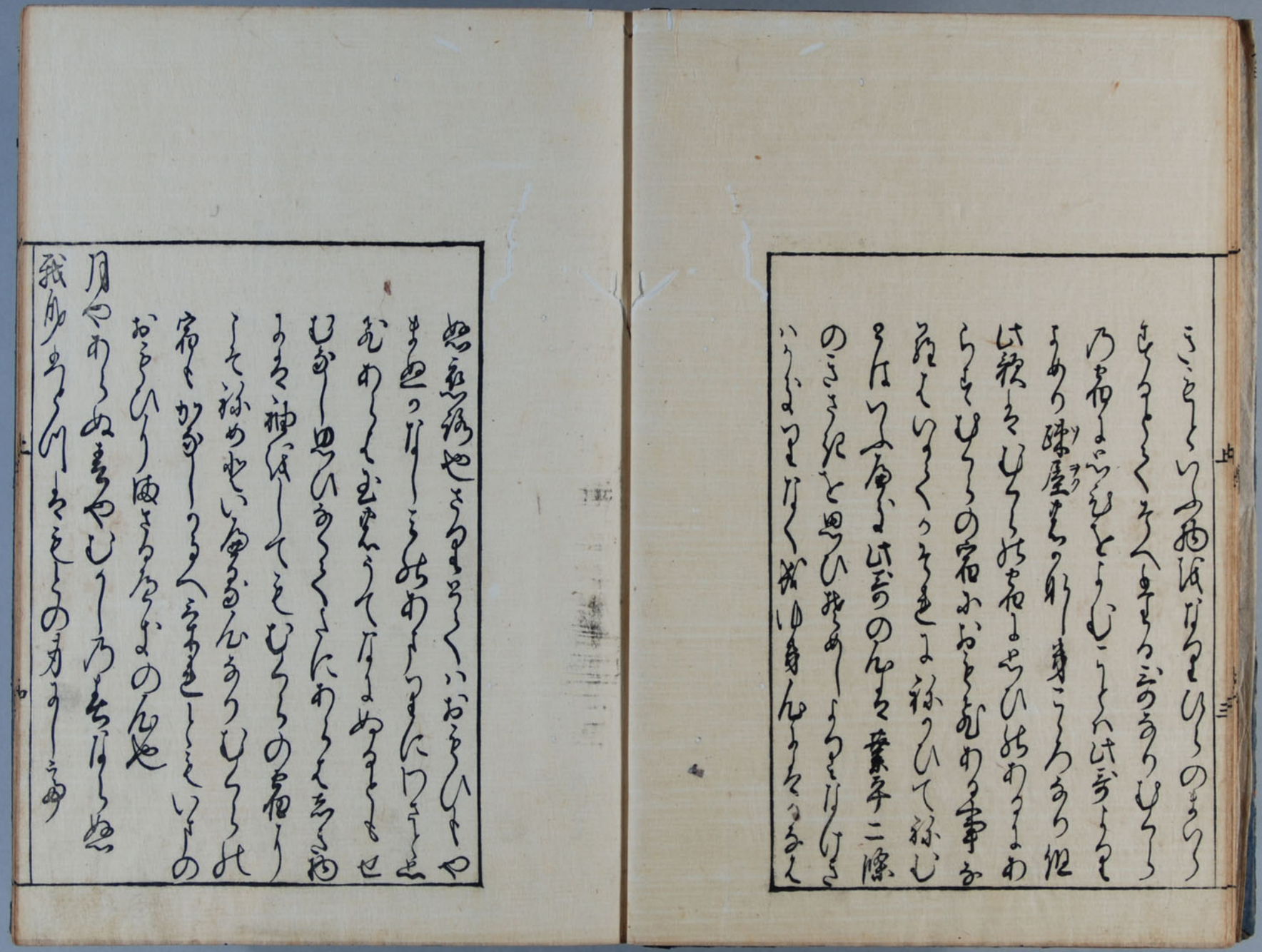
人[illegible]

[illegible]

[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　8/37

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　9/37

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

此歌[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

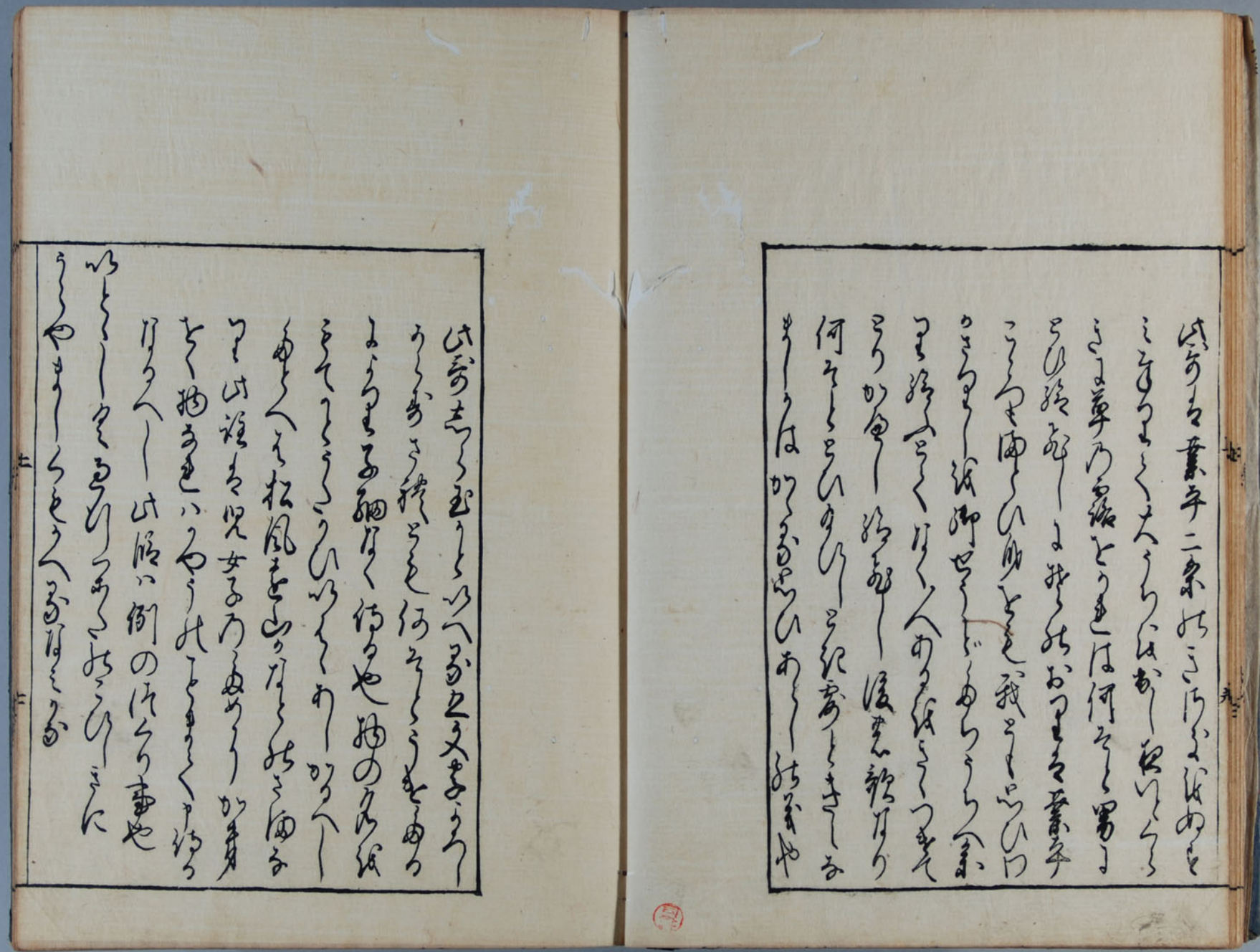
[illegible]

[illegible]

[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　11/37

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　12/37

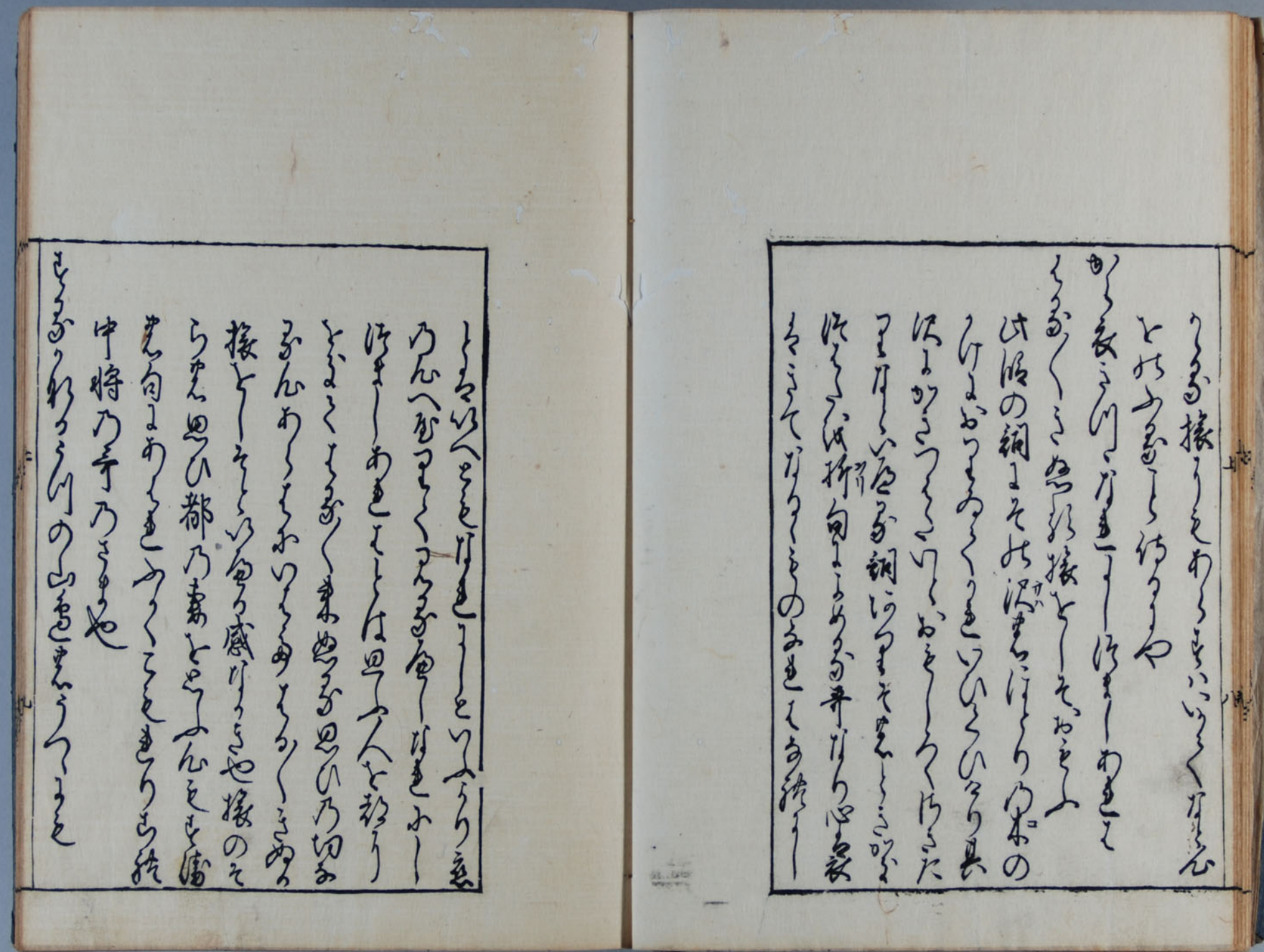
Nagoya University Library

大うさそのまゝ唐人の頭なり形
なりをひゝく流罪の船と成りて行
き清なる人いかなるもくさ身いま
ゝをなり拙き海はゝ波もよなきよ
ちゝうゝ月を見うゝ月さ海うゝ
うちよりすゝうとうとうとうくいか
へつくくちゝう我帰京をいかとの
ひうちうをなり身ゝはゝうをゝ理
とゝひ入くゝ分わくくさをのや
ちれをなりあうまゝはゝはゝはゝ

ちゝうゝ花人をうゝやゝうゝのめ
ゝをを同しく流罪のゝ花ゝなるゝ
ゝゝあうまゝ山ゝ世ゝうゝ拙ゝ花
山なをゝうゝうゝもゝくひなゝ
よ名うゝゝゝゝ乃立のゝうゝ海
月をゝゝくゝゝのゝゝゝゝけを
ハゝうゝ花人をゝゝ京京花ゝ
うゝゝゝあゝゝゝゝ拙乃ゝうゝ
てゝ月雪雪風をゝゝゝゝ事ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

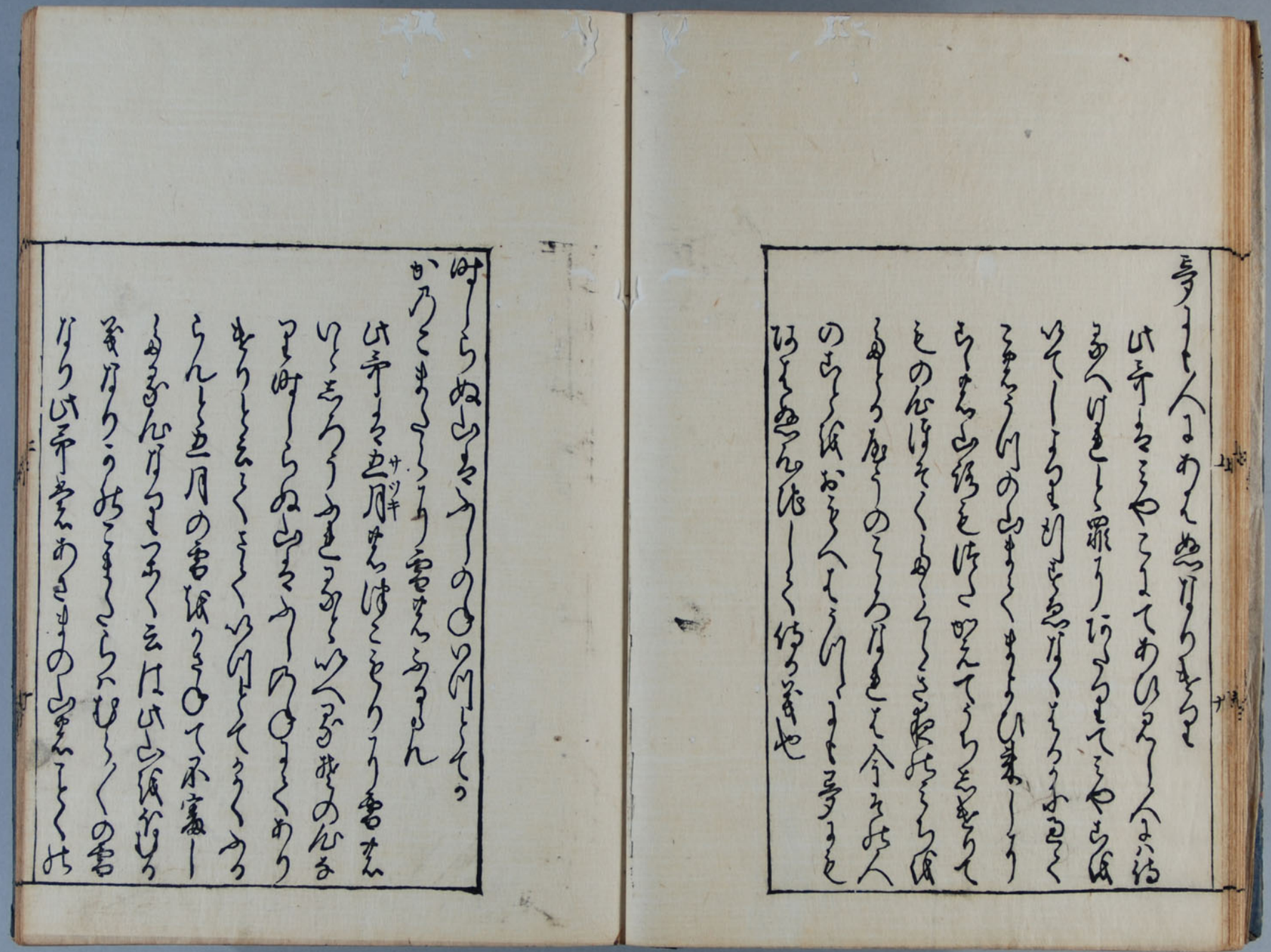
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　13/37

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　14/37

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　15/37

Nagoya University Library

接り侍るくさむらの
名うしおもくいるさとくうん郡多
つのおとをよんをありやなりや
此所をこゝにあるまゝ共感さく
ひけ身をもなりまゝひさしのゆく
さとづるさまをもなりおけ身なる
家門あるもつゆみうみ河乃外り
ましまくおとひ所をもうさうす
とゆくを来りうのゝもひあへる
かゝいあるゝ侍所ゝとのつまく

つうんとゝもうよみを人京よりつ人
はうさうをあゝぶしうけう絹し
をゝゝ字はゝん侍ゆくや京あり
いうゝゝゆるはをもつゝりもよ
しひ者をはこ侍うん郡をゝいよ
とさゝくと侍ゝ此絹うゆゝひとゝよ
あをゝゝ行ゝよや侍ゝつゝそ
ゝをゝゝ事侍ゝゝ古今集ゝ書
ゝ此絹とゝゝゝけを貴くゝん
おゝひあゝゝあくゝのなり

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 16/37

Nagoya University Library

みち野さんのむかしをしのぶる
えのめさましてなくあれ
はるかなるよしなきの山ぢくも
ゆくすえのうら和さんこそ野ぢ田
をくるのやとわるあり我ん山
人ようなおとてはいとくるう
いつ塩のおもかりはひるみるさん
和さいてうまはけるとこ一向ちこ云
んうるのむしろ田野面せ又青ゑもい潮
のへ人間のうるうくのくいつるを

我ろうるとなくるみちしの
そのひさんのうといのうこもん
ろちうなくるもの月後ちきこう
ろくへうるとこを我つるくへうるとも
いのろうるろうちのめうるうう
ろうはうろこみ雲あり
ワもるなよはくは雲井ようのめも
ろ後く月のめくるあしまく
月は雲井ようるくハ我人あひと
はうろ雲なうるもとも雲くるも

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　17/37

Nagoya University Library

あつまりくりかへしてふんなり
月をめくるあいだの後ハ京都へ
をくりおくりかへしてふんなり
なりとも此の拾遺の直轉
えんのうちより相遇おなじさまに
うたをあつめ集のあるをこのくらい
紀貫之師匠なりしものなり此
ハ風情おもしろき物やあるを
いつもとりあつめ肝要の事とぞ
ひさしぶりにハなやさしきつれ

ほのぼのとあけぬるあるをとり給ふ
おもひ絶よとつれなくすまいるあるを
よめるあるをのなりあるをおもつまくふほの
ぬるをとをとめるあるをなりつるを
女ゆゑの所やあるを年をつもりはいへども
都妻をもんのうの業平と我をとりあるを
野なをとをもつをなやさをとをいへる
心をうるはしきなり物の事也
ひさしぶりに絶をふるをくをかしをは
とをとをなをうるをとをうるをさし

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　18/37

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　20/37

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 21/37

Nagoya University Library

[illegible]

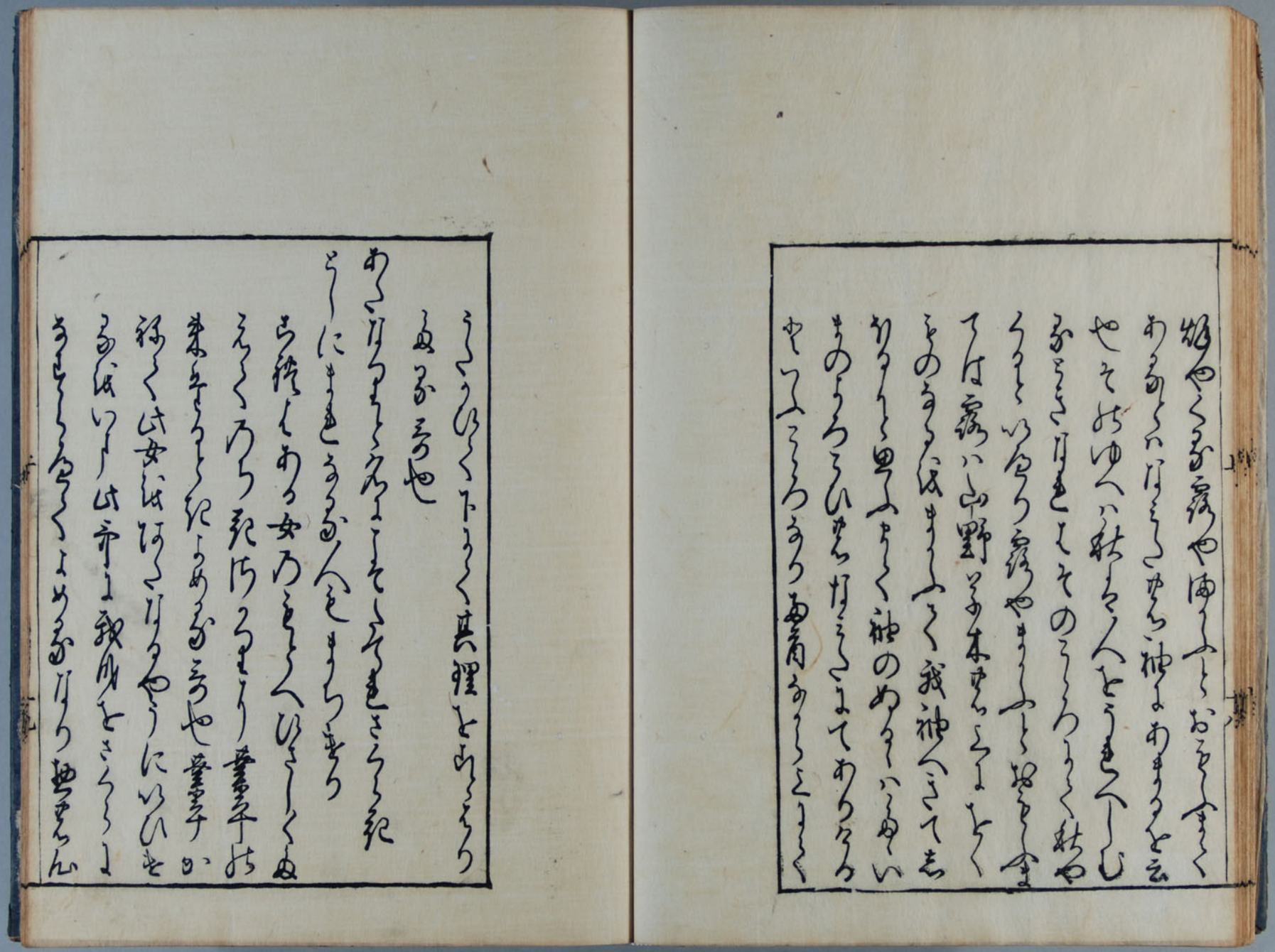
[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　23/37

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　24/37

Nagoya University Library

あさけりとなりてそのそもくきさく
死ぬるまでもあるべきさくらいあ
るべきなりよ名をとどめてきて
つるまでもまことにしんとまちな
るべくはきとあさましはいかゞあり
とかいなき也
きしかいあるべき君とまつるべき
こゝろまはいかゞとおもひたんしやや
けるもひとめんりいさらうあるに
うばくるべき侍べきをしらべき

さに来きてこそはきあすべきさ
あるいは君とあり侍べきしたれそ
本をたゞけるもん君はあるべきこゝる
とおもひさうしはこゝもしさと
乃ひきとしてしるべき女をうけ乃ひ
はきにこれいこそあるべきはおし
とあるべきひきとしてこゝへていつる也
うきひあるべきいつるきこゝ君の
こゝとこゝはあるべきこゝ乃
ひきとこゝ小町うまこゝうあ葉平う

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 25/37

Nagoya University Library

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Nagoya University Library

[illegible]

天雲[illegible]にのこりてみるこゝは
[illegible]山[illegible]せこゝやみのり
天[illegible]に乃[illegible]
[illegible]は月[illegible]おこ[illegible]山
の[illegible]
女[illegible]別人[illegible]
[illegible]女を有常[illegible]乃

[illegible]古今集[illegible]
[illegible]
[illegible]

Nagoya University Library

やわらんとて業なり
いかにまことにうつくしき女なりつるめん
若うけうとは去なりとて
女乃母ちんとあいとりつき
くりし人のいかにまことにうつくしき
まんぞくして業也去なりとて
いかにうりなりとくぬるうそわ
きとうしるんや
生くいるんしうといひやそし
世乃わうまに人をうしろ

らまとて業平とこゝろひとり思ひつゝ
しくらしけるに女ものまとに
ひとりなるあはれくいさのおちこ
うみくを出うまるはうとけるに
なんせんを我つくを生うに世間
乃人をんうとおもいをんを婦
をんわるはうしくをくを云
業や世をんわうをとは男女の中
の事なりを
をうひうを世をうをを年月に

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 28/37

Nagoya University Library

わ〻うちさつまく我やとまカ
ら殺さ女乃之出さるわ〻にうう
ひ〻めよめる殺也四人ひなる世
りうをきうこは切り我四ひ人の
わさうふ之出さうふ之おとよん也
年月成わ〻にうさうまく我やすま
わ〻と業年ワうう〻成四ひうう
く我こはうをりと四へと年月
成命中よう成さうりうさつまく
やとうんと一〻に女乃わやうう成

おほをぬ万葉年のんや
人をいさ四ちやとうんむうけ〻
おをうけよ乃をいと〻うえり
此歌を万葉よ人をいさおりひむ
とむつ〻おをうけよう〻けワを
らをぬうをわうえ歌成とうとう
人をるる物也さくんやを人四ひや
とうん四とうとやあるんをうとワ
をを西歌りうをいと〻えぬうは
りう四ひやとうんううう四へ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 29/37

Nagoya University Library

すやあるとんといふんあるあるま
めやうん男ら野はらのくとゑ新
をえやうんといふんはるを
いまはうくとうら常はもの○ほくに
人ぜんこうろうまうををうる
業平のんのよいとも何せんうくおと
ひくりもやせんのんくりもほく
草のう○ほうんこうろうまうをすと
うのくうめうも
りもをまうみくんにくあるくん

おうひもりくんはまうを考れ
やはんのそはうに長ほうる
くいは我はいとくもんとる
義や女まうのうるくん
みくとうりはのうんに
ふるおりうまや
ちうんくおくんのうり
りうくうるけふあそうる
ちまうかの女りまくひうて
はけるのうち女まんるほるくく

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253 30/37

Nagoya University Library

我とやうちうんやと思ひうくうー
さにうーのうとうなれ神うりてる
しゑしうてんや
なのそうよ之力の書おわうえうく
身乃ちうあくをうりよちうる
此程ちおおやーうちあうりてし
うちうおんちこの女我身おちあう
みうく業平乃不ちうち都しも
うやしうちうさうそ思ひをうあす
しうくちうまのうちうなれうんなと

業平我ちうしうちうあうれる
はうあーゑとうくひうまうやちうん
や業平ちうう行うなうんく我ち
行のちうるうとなのうちうおう乃
わうをうあ様りうちうへく我身
とりけうちうのや
うちあううんとうちうよちうて
ちううううなうなうりな
うちりううは業平乃うちうちう
うけをうちうけをうちうく恨

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　31/37

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　32/37

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　33/37

Nagoya University Library

かなもてつくる事はつまはしめ一二
白紙古筆うつしらしてくる事
不用事や宮家おもあるよしを聞
のかつてはしらしめまにまくく
をうしるをみをはしるをあり宣
御うつし女房申
くくしうつまりを髪をかつをも
宣かくくくくくくくくくくくくくく
かつまりを髪しは童女乃かをや
くくかくくくくくくくくくくくくく

けをるをうしにけるをんや女はさう
をかうかをくくくくくくくくくくくくく
く髪とくくくくくくくくくくくくく
うくくくくくくくくくくくくくくく
をくくくくくくくくくくくくくくく
をくくくくくくくくくくくくくくく
風をけくおくくくくくくくくくくくく
をくくくくくくくくくくくくくくく
たくくくくくくくくくくくくくくく
ををくくくくくくくくくくくくくく

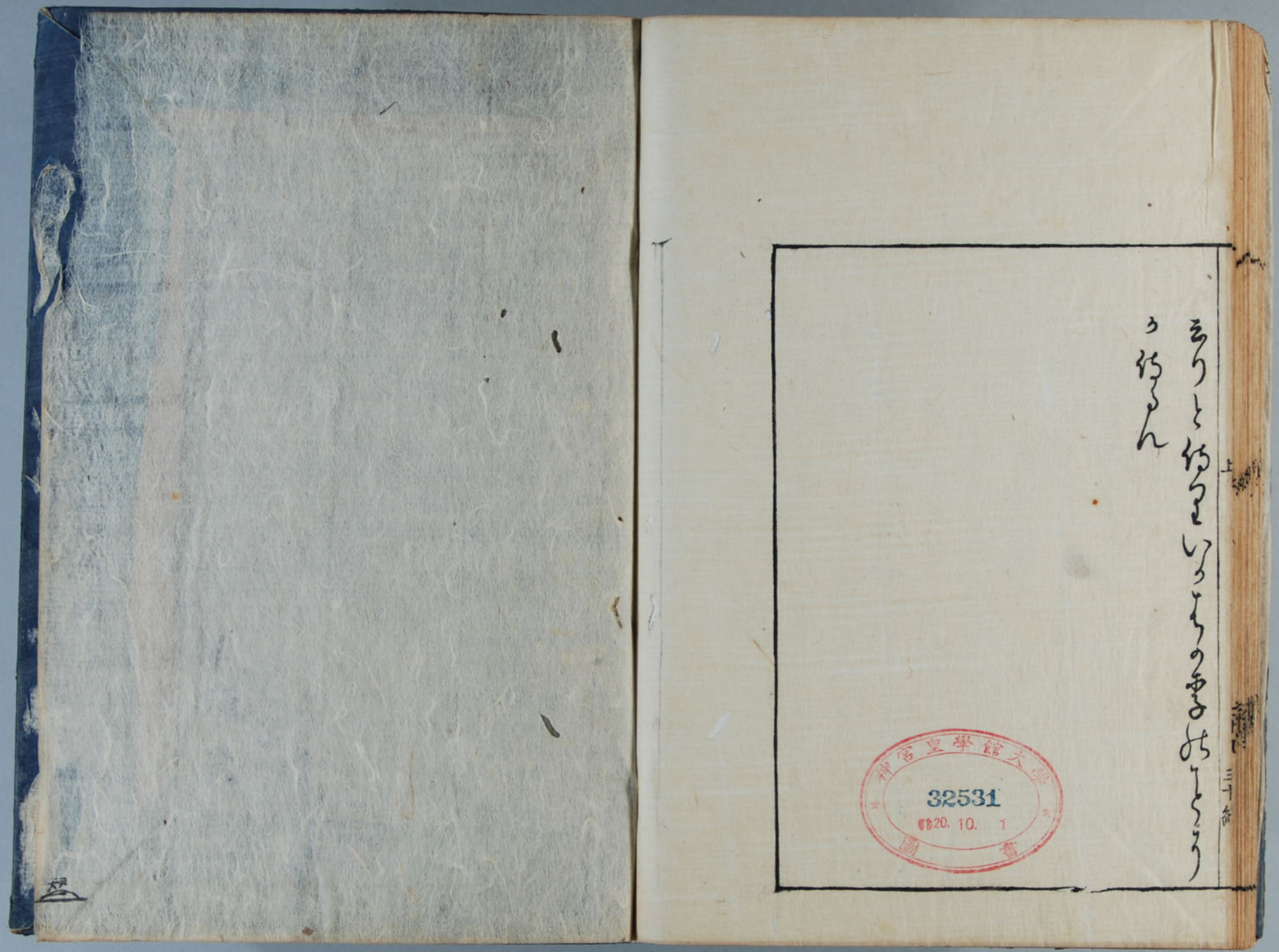
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　34/37

Nagoya University Library

題詠寄動よ弘仁の比仕し今業
りと三田といちんとくおさ川白
法といひ白るとしいちんとくを
つけんといまくらあるめ云
くを業よいあ山の色の所并
くよめる歌よりの川海まるる
川とは山川とうえんん
妹もの山とんとはひ宮
家に山今業可興可御やまには
わめら長のひとりいつり

山称とうを色とてあつ
とくれいちんめといひあ
ものやくく山女とをうもへな
理と思とく業平とめやらへお
しあるくく我ものやくけさ
うしの琴山うさなうこ夜半
しやあるとうこ独んしいあり
あるとくくひうや歌の羽う
とくあくひなくや清輔奥義抄
うと山平貫とくとの云あと

Nagoya University Library



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　36/37

Nagoya University Library

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「山口記」上
10062253　37/37